

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援トモノ工学校前教室（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年3月6日		～	令和7年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	22名
○従業者評価実施期間	令和7年3月6日		～	令和7年3月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	常勤職員、非常勤職員の連携体制がとれている。	毎月の支援・ケア会議や日々の始業MTGを通して、児童の細かなことから運営に関することまで共有できること、意見が集められている。	支援の質の向上を第一に管理者が先導となってよりよい支援が出来るよう、職員間で話し合いを進めていく。
2	子ども達が安心感を感じながら楽しく通所できている（満足度が高い）。	日々環境や状況が変化していく中で、安定した支援の提供をするために、事業所全体のチームで支援にあたることができるようになっている。	児童も通うことをより楽しんでもらえるように、イベントの発案や活動プログラム内容の更新を引き続き行なっていく。
3	活動プログラム等が固定化されないようにしている。	児童が意欲的に参加することができる、支援目標の達成につながる、高校卒業後を見据えた目標設定など、現状と将来の2つの観点から活動プログラムを計画している。	集団活動における活動プログラムだけでなく、一人ひとりの個の作業に特化した内容を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル関連など、整備しており訓練も行っているが、保護者の方への情報が伝わりにくい状況となっている。	情報発信の手段の幅を広げる必要がある。	契約時のみの説明以外で、既存の契約している方への情報発信方法を検討していく。
2	関係機関との連携や、家族支援について改善の余地がある。	特別支援学校を1校に絞っていることで、学校全体と連携を取り、支援の質の向上につなげることができている部分もあるが、一人ひとりの担任の先生などの連携が不十分に感じる。	教室と学校の限られた環境の中での情報共有ツール、方法について検討していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	発達支援トモノ工学校前教室（放課後等デイサービス）
------	---------------------------

公表日 令和7年3月29日

利用児童数 27名 回収数 22名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	4				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	10			日頃何名の職員が配置されているか全体の様子のイメージがもてていない。保護者への対応も日頃から穏やかで落ち着いた感じ、人数は適切なのかな、と思っています。	送迎車での送迎のため、なかなか教室の実際の様子のイメージがつかないようで大変申し訳ございません。今後も引き続き適切な人員配置で支援して参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	6			水筒に名札を付けてもらったり、こまめに工夫されていると思います。階段については、バリアフリーとはいえないのかなと思います。	今後も児童に分かりやすい環境を提供していただけるように努めて参ります。また事業所は来年度1階の教室に移動し、階段を使用せずに教室に入ることのできる導線確保して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	2				
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	4	1		ビジョントレーニングも混ぜ込んで活動されていて、良いとおもいます。	児童それぞれの目標に向けて適した支援プログラムを提供していただけるように今後も計画させていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21		1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	3			利用して半年ですが保護者の話もじっくり聞いていただき、その先の将来も見据えたプランを立てていただいています。	いつもご理解とご協力をありがとうございます。今後も児童に寄り添いながら、多角的な支援ができるよう努めてまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				そのほか、日々課題が浮かび上がればその都度対応してくれています。	今後も定期的に職員で支援に関する会議を行い適切な支援ができるようにして参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	11	10			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	2				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	12	1			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができてきていると思いますか。	20	2			毎回、お迎えの時とhugでの記録、保護者からの連絡もチェックしてくれています。	都度状況に適した支援ができるように、今後も細かな情報共有をして参ります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3	1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	10	9		きょうだい向けのイベントがあるとしたら大変興味深いです。	今後ご希望に合わせて検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	1			保護者からの連絡もよくチェックしてくれています。 都度状況に適した支援ができるように、今後も細かな情報共有をして参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	3			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	5			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	3	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	5	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	19	3			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	2			まだかよって半年、慣れたように見えますが、まだ多少は緊張しているかもしれません。 児童が安心して過ごすことができるように環境を整え、今後も信頼関係を築きながら支援できるように努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	2			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	発達支援トモノ工学校前教室（放課後等デイサービス）				公表日	2025/3/29
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		収納スペースや相談室等のスペースも考慮して定員に合った環境が整っている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員以上の配置をとることができている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		環境整備を行い、不必要な教材等の整理ができています。ライン引きでスペースは確保できていると感じている。	エレベーターの設置がない。階段に手すりを設置するなど現状で可能な設備投資を行なっている。換気や窓の大きさについて課題を感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日頃から清掃をこまめに行っているため、清潔に感じている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもから1人になりたいという様子を見せてきたり、伝えてきたら個別対応できるようにしていると感じている。	個別対応ができる空間はあるが、クールダウンに適した環境の個室が無い。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的な支援会議や研修等を通して日々改善に向けて常勤・非常勤含めて話し合うことができています。	新しく入社した職員や、出勤日数の少ない職員に対する周知方法について考える必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からのご意見や希望が汲み取れるよう支援体制を見直している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な支援会議や、委員会などで事業所内だけではなく会社として職員の意見を収集している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		義務化されている内容はもちろんの事、必要に応じて外部研修に参加したり社内研修を実施している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		品質向上委員会を通したり、各事業所で整えることができています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の記録や送迎を通しての保護者とのコミュニケーション、また年2回の面談を通して情報共有をもとに適切に計画ができています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々の振り返りの時間や、定期的な支援会議の中で、支援に関する共通認識を確認&改善に取り組んでいる。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書のファイルを職員が閲覧できる環境で整備している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所全体でアセスメントシートを見直した。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			地域支援・地域連携についてはあまり行う機会がまだ少ないため、今後機会を増やしていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月の支援会議で話し合っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		継続的に行う事も必要だと感じているが、発達過程に合わせて変えたりしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			個別活動はなかなか行えていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		始業MTGを必ず行い、その日一日の内容を細かく共有、計画することができている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎遅延などにより開催出来ないこともあるため、社内連絡ツールを活用している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録（提供記録、ケア記録）は丁寧かつ適切に行なっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		1年に2回以上の計画の更新にともない職員会議を通してモニタリングをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		日頃から意識していると感じている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自己選択が難しい子どももいるので、自己選択、決定ができるよう支援、指導している段階ではある。	視覚表示が少ないように感じる。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童ごとの担当を決定し、その担当が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童の通う学校と、引き継ぎ内容の共有のほか児童の変化があった際には情報共有を行うよう工夫している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			法人内での情報共有は盛んであるので、その他事業所を利用していた方の共有方法が今後の課題である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて児発管中心に連携をしている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的な面談の他、連絡ツールや電話などで適宜課題について情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時の書面、HUG、HPを活用して公表することができている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児発管との面談で意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		対面または電話での面談を通して必ず同意を得て署名をいただいている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		電話やメールでの相談のほか、必要に応じて面談を設定している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情も貴重なご意見ととらえ、支援内容の質向上に役立っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			SNSをもっと活用すると良いと感じている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		管理体制をきちんと行っていると感じている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝え方や言葉使いに配慮して行っていると感じている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		外部講師の方を講師とした研修を地域の方も参加ができる形で行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		委員会の設置を通して定期的に研修を行っている。	防犯についての対応等課題を感じる。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月末に何らかの災害を予測して避難訓練を行うことができる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に情報をいただき、全職員に共有することができるように日誌に記録している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		個人情報に記載するとともに、未然に防ぐことのできるよう準備している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		委員会の設置を通して定期的に研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		委員会を設置し、委員会メンバー中心に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		書面にも記載する事で風化されずに記録として残すよう意識している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		様々な形で研修を通して。また、伝達研修も積極的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		書面にてお知らせしており、同意書ももらっている。		